ニコラス ペーテルス

20 号館 5 階　ペーテルス研究室

テーマ:国際政治学・国際政治史

授業の主旨・目的

このゼミでは、「歴史を通して今を理解し、世界の動きを自分の言葉で語られるようになる」ことを目指します。国家間の外交関係を軸に、国際機構・企業・NGO・メディア・個人など、国家以外の多様なアクターにも焦点を当て、国際社会の構造や変化を多面的・多角的に考察していきます。

分析にあたっては、特に歴史的アポローチを重視します。過去の出来事を単なる年表として学ぶのではなく、「なぜ」「どのように」「どんな影響を与えたのか」を自ら考え、因果関係を論理的に紐解くことを目指します。

このように、国際政治の背後にある外交の駆け引き、政策形成の過程、そしてそれに関わる人々の思惑や選択に興味がある人を歓迎します。また、国際社会を歴史から読み解き、自分の視点を育てたい人にも向いています。

ゼミは、英語と日本語の両方で行いますが、参加・発表・卒業論文は日本語で構いません。The seminar will be conducted in both Japanese and English. Students are expected to have a sufficient level of English to follow discussions and receive guidance, but participation and thesis writing in Japanese are fully acceptable.

担当教員

担当教員の専門分野は国際政治史/外交史であり、日本・ヨーロッパ・アメリカなどの外交文書を分析し、歴史を再構成・再評価する研究を行っています。**外交のダイナミズムを歴史的視点から検証することを目指しています。**

授業計画

3年春学期は、卒業論文作成の基本を見直しながら、各ゼミ生の関心分野を整理し、研究テーマを深めていきます。3年秋学期は、卒業論文の方向性を固め、執筆も開始します。このほか、グループワークや学生からの提案を取り入れながら、ゼミを進めていきます。

成績の評価方法

ゼミは、受け身ではなく「共に創る」場です。報告・プレゼン・討論などにおける積極的な参加を最も重視します。また、他の学生の研究に耳を傾け、建設的に意見を交わす姿勢も求められます。

教材

学生の関心とテーマに応じて随時指定します。Please note that also English-language materials such as official documents, news reports, articles, book excerpts, and audiovisual sources may be used.

面談に関して

本ゼミを希望する学生は、以下の要領で必ずメールで面談を予約してください:nicholas.peeters@fsc.chubu.ac.jp .

件名:「ゼミ面談希望(氏名・学籍番号)」 ＋ 本文に以下の内容をできるだけ具体的に書いてください:

①「ゼミを希望する理由」
②「興味・関心があるテーマ」
③「ゼミで取り組みたいこと」
④「冊子の面談日程に沿って、複数の面談希望日時」